

第 2 1 回加東市地域公共交通活性化協議会におけるご意見とご意見への考え方

■【議案 1】 加東市公共交通活性化協議会規約等の改正について・・・承認 2 7、不承認 0

| ご意見 | ご意見への考え方 |
|---|--|
| <p>市民感覚としては、書面協議の際の委員報酬8,000円はやや高すぎるかと思う。協議内容にもよるが、半額程度が妥当と考える。</p> | <p>委員報酬は、会議会場にお越しいただいたことに対してお支払いするのではなく、ご意見等をいただいたことへの対価としてお支払いするものと考えています。書面協議につきましても、対面開催の場合と同等のご意見をいただくことになるため、加東市においては同じ報酬（日額8,000円）を支給することと決定しており、当協議会についても市に準じた取り扱いとさせていただきます。</p> |

■【議案 2】 自家用有償旅客運送（福田ふくふく線）の路線新設（変更登録）について・・・承認 2 7、不承認 0

| ご意見 | ご意見への考え方 |
|---|---|
| <p>自家用有償旅客運送については、乗客に対する「乗ってください」という働きかけも同時に強力に推し進めることが、乗客確保のために大事だと思う。「自分の車」と同じように、「自分のバス」と思ってもらえるような意識改革への取組が必要な事例である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物ツアーを催す。（みんなで一緒にという感覚） ・見守り人（民生児童委員等）がさりげなく同乗する。 | <p>福田ふくふく線の利用促進については、全戸にチラシを配布してPRするとともに、福田ふくふくバス協議会と連携して、利用が必要な方への個別訪問等、地域の実情に沿った周知を行っていきます。</p> <p>また、地域で愛着を持っていただけるように、名称や車体のデザインについては、福田地域で公募して決定しました。</p> <p>引き続き、福田ふくふく線はもとより、米田ふれあい線、きよみず線、とうじょうあいあい線についても、地域のご理解をより深めていただけるよう、周知に取り組んでいきます。</p> |

運転手の年齢要件が21歳以上74歳未満とあるが、74歳は高齢者であり、認定講習のみで運転業務を行えるのは危険と思う。高齢者の再雇用のためとするのであれば、第2種免許取得者が望ましいと考える。

また、高齢者が運転するのであれば、リスクを減らすための取組を同時に検討し、安全な運行ができるようにしなければならない。例えば、独自の安全運行ガイドラインの作成や、高齢者の脳や心臓への急性疾患対策として健康診断を実施する等、より安全な運行体制を確立する必要がある。

神姫バスの姫路社線の発着が、社車庫から、一部、社町駅～姫路に変更になっていることをテレビ番組で知った。

バスターミナル設置を進めている加東市にとって、社車庫～バスターミナル～姫路の便数が減便されたり、コースを短縮されたりすることは、自家用有償旅客運送等と連携して、高齢化や地球環境への対策として公共交通機関の利用を推進していく上で、矛盾している。神姫バス(株)に改善を要望していくべきである。

自家用有償旅客運送の実施にあたっては、運転手の資質向上のため、全運転手を対象に年1回、加東自動車教習所において安全運転講習やOD式安全性テスト、実車講習を実施しています。

また、年2回程度実施している運行会議（運転手及び運行管理者が出席）においても、運行ルート上の危険箇所の共有や改善等を随時行っています。

今後もより安全な運行に向けて、安全対策の充実に努めていきたいと考えています。

ご指摘のとおり、神姫バス姫路社線については、社町駅止まりの便が増え、社市街地とJR社町駅との間、加東市と姫路市・加西市との間の便が減少しています。

市では、バスや鉄道に加え、社市街地乗合タクシーや地域に密着した自家用有償旅客運送それぞれの円滑な接続による、地域公共交通ネットワークの形成に取り組んでいます。社市街地から鉄道へ円滑に接続するためには、社市街地とJR社町駅との間のバスの便数確保は、重要であると認識しております。また、新たに整備するバスターミナルの有効活用の観点からも、バスターミナルとJR社町駅との間の移動手段の確保が重要であると考えており、引き続き、神姫バス(株)をはじめとする交通事業者への要望を行ってまいります。

福田ふくふく線の自家用有償旅客運送においては、運行管理及び安全管理のより重点的な確認をとっていただきたい。

74歳以下は当然のこと、安全・運行管理者以外による安全点呼と健康管理等を受けた運転手を複数名用意し、毎日、毎月、毎年確認のうえ、運行していただきたい。

旅客運送においては、一般的なボランティアと違い、より重い責任があると考えます。

福田ふくふく線の運行管理及び安全管理については、運行管理者を3名選任し、運行前に運転手の体調や運行する道路状況等の確認を行います。

加えて、年に2回程度実施している運行会議において、運行ルート上の危険箇所等を洗い出し、運転手全員で共有することで、より安全な運行に努めていきます。

また、運転手を13名確保し、運転手に不測の事態が発生した際は、交代できる体制を整えています。

これらとあわせて、上にも記載しているとおり、福田ふくふく線におきましても、運転手の資質向上のため、全運転手を対象に、加東自動車教習所での安全運転講習やOD式安全性テスト、実車講習を実施していきます。

自家用有償旅客運送は、乗客を乗せて運行しますので、安全な運行のための対策を徹底し、事故の無いように努めていきます。